



ぽん らんと

特集

一歩踏み出そう！
夏の課外活動



「一歩踏み出そう！ ～夏の課外活動～」

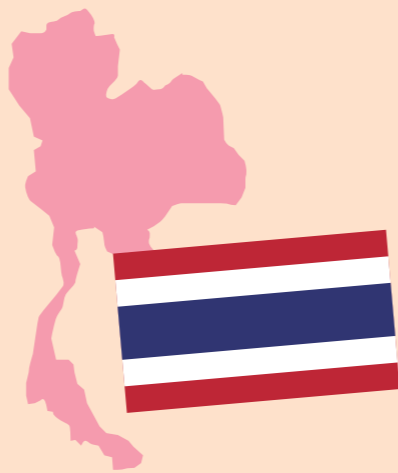
みなさん、夏の予定は決まりましたか？

社会人になったら時間がないという声をよく聞きます。時間がある大学生のうちに様々な活動をしていきましょう！

今までしたことのないことに挑戦する、新しい人と出会い、話すというのはとても勇気がいることだと思います。しかし挑戦したり新しい人と出会ったりすることは新たな価値観などに会い、成長するチャンスです。挑戦から新たな挑戦へ、出会いから新たな出会いにつながるかもしれません。この夏、少し勇気を出して新しい一歩をふみだしてみませんか？課外活動での出会いを通して勉強や部活では学べないものを学んでほしいと思います！

今回は去年行われた夏のイベントを紹介します。今年も同様のイベントが行われる予定なので、ここで取り上げているイベントやその他のイベントにも参加して、新しい人と出会う夏にしてみませんか？

編集：こうめい



タイスタディーツアー

少数民族の支援をする NPO との活動や一流私立高校の見学を行うタイスタディーツアー。日本とは全く違った環境の発展途上国タイ。そんなタイの山奥で生活をしている少数民族のモン族は貧困に喘いでいます。ホームステイを通して、彼らの生活がどんなものなのかを学んだり、本当の支援とは何なのかを実際に支援をしている方々から学んだりすることができます。また高校の授業では、昔ながらの方法で綿織物を編む方法を学んでおり、ただ机に向かうだけが学習ではない、ということを考えさせられます。観光では行けない所へ行って、普通ではできない体験をこの夏体験してみませんか。

詳細は学びラウンジ（こうめいおススメの場所をチェック）まで

門田 彩加さん（人文・2年）

何を学びましたか？

タイと日本との文化の違いをみて、当たり前と思うことに疑問をもつことができるようになった。自分の中で考えるだけにとどまらず、「人に聞いてみる」「議論する」ということを学びました。



FroSt キャンプ

FroSt とは佐那河内村を舞台に地域活性化を行っている学生団体です。FroSt キャンプは夏に佐那河内で行われるイベントで、地域の方との交流会や石窯での本格的なピザ作り、鮎のしゃくり漁などを行います。また、夜には満点の星空を楽しみます。佐那河内ではしか体験できないことを行い、佐那河内の魅力を発見、体験していくイベントです。今年のキャンプの日程は Facebook ページをチェック！



橋本 真歩さん（総科・社創2年）

一番楽しかった思い出は？

夜にアウトドアクッキングをしたことです。シシチューがおいしかったです。

参加してよかったことはなんですか？

キャンプを通して自分にない価値観を持った人と知り合うことができ、視野と人脈が広がりました！夜にアウトドアクッキングをしたのが楽しかったです。



徳島 × Summer School by H-LAB

徳島 × Summer School by H-LAB は、2014年8月16日～8月22日にわたって開催される、6泊7日間の高校生向けサマースクールです。ハーバード大生をはじめとする海外大学生による少人数授業、魅力的な大人に出会い対話する場、徳島が育んできた豊かな文化体験、様々なコンテンツで高校生に訴えかけます。

高校生にいろいろな学生、社会人の話を聞いてもらい将来の進路の幅を広げてもらうのが目的です。高校生のうちにこういうことをしておきたかった等、そういうことを高校生に伝え、少しでも高校生に進路選択の助けになりたい、そういう人を募集しています。気になる方は、徳島サマースクールで検索。



ボランティア体験 Debut レポート

「ボランティアって何してるの？興味はあるけれど、何から始めたらいいかわからない…」
そんな人たちに、初めて学外でのボランティア活動に参加した学生の声をお届けします。



総合科学部社会創生学科2年
くろかわ せいや
黒川 誠也さん

ボランティアは身近なもの

中学校や高校の頃から、夏祭りのちょうちん張り・生徒会でのゴミ拾いなど関わる機会があり、ボランティアは身近なものでした。ボランティアと聞くと私は『助けあい』や『欠かせないもの』というイメージをもちます。このような活動が好きで、大学でも機会がもちたかったのでボランティア部に入学しました。

部活のOBとの出会い

ボランティア部の合宿はOB・OGも一緒に参加して下さることがあり、その合宿で戸田浩司さん（年内に法人設立準備中）という先輩に出逢いました。合宿後、スペシャルオリンピックで再会し、関わる機会が増えました。先輩といえども、すごく若い気持ちを持っていらっしゃいます。そんな先輩にお誘いいただき今回スポーツ GOMI 拾い（以下スポ GOMI）に関わることになりました。

実際にやってみて

スポ GOMI では私は事務代表を務めました。事務担当は参加チームへのメール対応、チーム名・人数管理、後援依頼の手紙の送付といった作業を分担して行いました。3 か月ほどスポ GOMI に向けて動きましたが、2 月下旬から3 月上旬が一番のふんばりどころでした。集まったメンバーには初めて一緒にプロジェクトを進めるメンバーもおり不安もありましたが、とてもいい雰囲気ですすめることができました。

当日、私は審判として動きました。リハーサルよりも本番のほうがうまくいき、審判ということもあり参加者と近い距離でイベントの雰囲気を感じることができました。年代も学生のみならず社会人のチームも多く、様々な世代に参加してもらえたのも嬉しかったです。結果的に1 時間という制限時間内に20 チームの参加者が92kg のゴミを拾いました。これもイベントの成果の一つだと思います。

これからやりたいこと

今回のスポ GOMI をやってみて、純粋に楽しかったです。スポ GOMI では、運営の立場でしたが、ボランティアへの取り組み方や関わり方には自分の思っていた以上に色々なかたちがあると感じました。今までだと自己犠牲というか、誰もやらないからするところもあったけれども、自分も楽しんで成長して、仲間も増えて、とにかくプラスのイメージが膨らみました。ボランティアのイメージの幅が広がったのでより多くのかたちで、これからもボランティアに取り組みたいと思えました。ひとつのものをやるというのが本当に大変ではあったけれども、終わってみるととても達成感があり楽しかったです。一緒に取り組んだメンバーとの繋がりが続いており、すごく仲が良いので、いい仲間ができて嬉しいです。

今回紹介したイベント

「スポーツ GOMI 拾い」

『ゴミ拾いはスポーツだ!』をスローガンに、楽しみ競いながらゴミ拾いをするイベント。5 人 1 組で指定された範囲内のゴミを拾い、重さや種類によって得点を競う。徳島初開催の2014 年3 月22 日はスタッフ・参加者をあわせて100 人を超えるという盛り上がりを見せた。第2 回はインディゴソックスと連携したイベントとして5 月25 日に開催される。



ペケの 推しメン

このコーナーは…

私ペケが出会った

輝く先輩たちを紹介するコーナー

Person#03 塩川 奈々美

Pick Up

学びラウンジ

6 号館2 階に位置する留学生や社会人との交流の場。自分を変えてくれる新しい出会いが見つかるかも。詳しくは施設紹介のページを Check!!



後輩に一言

「チャンスを見逃すな!!」

自分の前に何か立ちちはだかった時に、目をそむけずに自分の中から答えが出るまで挑戦することで、学びや成長に繋がる。チャンスから逃げてばかりいると、そのうちチャンスが巡ってこなくなるので、積極的に挑戦してもらいたい。

今回は地域や国という枠を越えて活躍する塩川さんを紹介します。大学入学当初の塩川さんは、せっかく大学に入ったので色んなことに挑戦してみたいと思っていました。そんな塩川さんが挑戦したのが国際交流です。授業を通じて中国人留学生と出会い、友達になることで、自分は全然日本の事について知らないという事や、外国人の人たちは日本の暮らしに不便さを感じているという事を知りました。そんな塩川さんに、大学1 年目にして大きなチャンスが巡ってきました。大学の先生にモングルへの研修に参加しないかと誘われたのです。まだ18 歳で英語も話せない自分で大丈夫なのかと思いつつも、巡ってきたチャンスを活かしたいという想いから、モ

ングルに行くことを決意しました。さらに、春には韓国も訪れることに。異文化に触れ、自分の世界を大きく広げた1 年でした。大学2 年目は部活の幹部として忙しい生活を送りながらも、モングルの留学生のホームステイの受け入れに挑戦しました。言葉があまり通じず、苦労も沢山ありましたが、一緒に生活することでお互いの事を深く信頼し合い、別れ際には号泣し合う程の仲に。2 度目の韓国渡航の際には、船の中で知り合った言葉の通じない韓国人のオジサンやオバサンと一緒にディナーを食べるなど、コミュニケーションというものを改めて意識しました。3 年の時にはアイルランドへの留学に挑みました。留学中はシェアハウスに住みながら大学へ。シェ

アハウスでは全く年代の違うポーランドの方々と暮らしていたそうです。まるで本当の家族のように接してくれる温かい人達だったようです。3 年間で本当に色々な国の方々と接してきた塩川さん。大学最後の年である4 年目は方言の研究に勤しみました。改めて日本について知りたいと思い、研究を始めることにしたそうです。今度は調査として国内の色々な場所を飛び回りました。そして、まだまだ学び足りないと思うようになり、現在では大学院に進み、研究を続けられています。研究の合間に留学生から中国語を学ぶなど、今なお積極的に活動を続けていま

しおかわ ななみ
塩川 奈々美

プロフィール

福岡県出身
総合科学教育部地域科学専攻
元空手部
元ボランティア部



徳大生の声

今回のテーマは
Where are you from?
~あなたの地元の自慢~

こうめいおすすめのおススメの学べる・繋がる・使える場所



私こうめいが、徳島大学において、何か新しいことを学びたい時や、新しい発見をしたい時などに使える“場所”を紹介していくコーナーです。毎回ユニークな場所を紹介していきますので、ご興味をもって下さった方は、ぜひ訪れてみて下さい。何か新しい発見ができるのではないのでしょうか！

今回は僕が入学してはじめてお世話になった「学びラウンジ」を紹介します。

学びラウンジは留学生や社会人との交流の場です。学びラウンジには学生や社会人など様々な人が入りしていたので工学部の僕でも総合科学部の友達ができたり社会人や留学生と仲良くなれたりしました。今回は学びラウンジの主なイベントを紹介します！夏は留学生のサマースクールの活動拠点になるので留学生と仲良くなりしたい！という方は足を運んでみてはいかがでしょうか。

サマースクール

昨年は6月ごろにアイルランド、中国、モンゴルから留学生が来ました。彼らは短期留学のため授業はとらず日本語や日本の文化を学びに来ています。僕は留学生に日本語を教えてあげたり、逆に彼らの国の言葉を教えてもらったりと文化交流の機会になりました。僕たちが教えてあげているという感じはなくお互いに気づき学ぶことができるのがサマースクールのいいところだなと思います。

上勝合宿

葉っぱビジネスで有名となった「いろどり」に一泊二日の短期インターンをします。田舎に住んでいる方はどのような生活を送っているのか、どうやって葉っぱを商品に変えたのか。大学の講義では学べないことを合宿で学んでみませんか？葉っぱビジネス以外にも上勝で企業支援をしている方と話すこともあります。みなさんにはぜひ上勝での2日間を楽しんでほしいです！



学びラウンジは、**共通教育6号館2階**です！！

この奨学金は、申請する学生自らが
留学を自由に計画し、大学から応募するものです。

だから、(自分スタイルの留学)を
作ることができるんです

「海外で長期間インターンシップや、ボランティアに参加したいんだけど…」
「海外で本格的な研究をしたいんだけど…」
そんな皆さんの夢にチャレンジする良いチャンスです!



その他の特徴としては…

- 語学力、成績は関係なし! (自分が設定した目的を達成できるだけの語学力があれば OK)
- 他の留学奨学金よりも支給額が大きい&条件が緩やか
- 給付型の奨学金なので、返済する必要がない
- 28日以上、1年以内(3ヶ月以上を推奨)の留学を支援!
- 海外での研究、ボランティア、インターンシップだけでなく、自らが立案した企画を海外で行うことも可能! (例えば、「海外に阿波踊りを広めよう」、「和食を広めよう」など)
- 今回から、地域に根付いたグローバル人材を育成する「地域人材コース」ができます。

まだまだ、
伝えきれない情報が**満載**です。
是非、説明会に参加してください!

- 常三島地区 10月8日(水)~10日(金) 共通教育 4-305
12:00~12:40 & 18:00~19:30
- 蔵本地区 10月7日(火) 蔵本会館 2F 国際課蔵本分室
12:00~12:40 & 17:00~19:30



官民協働海外留学支援制度

トビタテ! 留学 JAPAN 日本代表プログラム



すべての若者に一度は海外を経験するチャンスをも!
民間の求めている多様な人材に成長を!

採用区分 募集予定人数 全体で 1,000 人 (予定)

自然科学系、複合・融合系
人材コース【工学、医学、農学等】
*世界トップレベル大学等を含む

世界トップレベル大学等コース
【人文・社会系分野】

多様性人材コース【分野限定なし】

新興国コース【人文・社会系分野】

地域人材コース! **NEW!**

手厚い支援!

奨学金 月額 12 ~ 20 万円 (※留学地域で異なる。)

留学準備金 事前事後研修参加費 (国内旅行費の一部)
往復渡航費の一部 10 ~ 20 万円
(※留学地域で異なる。)

授業料等 30 万円を上限に支給
(留学先の授業料、プログラム等参加費等)



平成 27 年度募集予定

平成 26 年 10 月 エントリー開始
平成 26 年 11 月 選考開始
平成 27 年 4 月以降 留学開始

【問い合わせ先】

国際センター又は
国際課 (常三島地区)



詳細は、いますぐサイトへアクセス
<https://tobitate.jasso.go.jp/>

夏といえば



③ ①
④ ②



らぱっと公式 Facebook ページ

ぱぱっとらぱっと

みなさま、
いいね!
お願いします (^o^)

誕生!

らぱっとの Facebook ページ「ぱぱっとらぱっと」では、大学生の課外活動に関連するイベントを「ぱぱっと」配信していきます♪
「ぱぱっとらぱっと」は各団体の方にも更新していただきたいです。投稿してほしい内容等ありましたら連絡ください!

検索お願いします!

<https://www.facebook.com/papatto.rapatto>

らぱっと編集部って何?

『らぱっと』は、インドネシア語で『出会い』を意味しています。この情報誌を通じて活動と出会い、興味を持ったら参加・実践し、そこに楽しみを見出す学生を増やす事を目標としています。徳島の大学生に「おもしろい!」っていう気持ちが生まれるような内容盛りだくさんの情報誌を目標しますので、皆さん気軽に手に取り、ご愛読ください。

問い合わせ先

らぱっと編集局
〒770-8502 徳島市南常三島町 1-1
徳島大学共通教育6号館2階
連絡先 Tel : 088-656-9865
E-mail : rapat.edit@gmail.com

<発行>らぱっと編集部 <発行年月>2014年8月
<編集>編集長: コーイチ, 副編集長: こうめい
表紙: コーイチ 特集: こうめい
徳大生紹介: ベケ ボランティア体験: とんちゃん
おススメの場所: こうめい
徳大生の声: りんさや トビタテ: 国際センター
キャンパスライフ漫画: りこびん
ぱぱっとらぱっと: さとじゅん
サポーター: ひろし